

第四次川越市総合計画策定に係る

外国籍市民インタビュー
実施報告書
(一部抜粋)

平成27年1月

1 実施概要

- ・趣旨 現在人口の約 1.4%を占め、また、今後増加が予想される外国籍市民はグローバル化が進展する中で、それぞれが持つ文化的背景から地域の魅力を高める存在としての可能性も持っていることから、住み続けたいまちづくりについて外国籍市民の意識を調査した。
- ・対象者 タウンミーティング参加者、クラスセで開催されている日本語教室の学習者、留学生等
- ・実施日時 平成 26 年 8 月 28 日、9 月 19 日、9 月 22 日、9 月 26 日他
- ・実施場所 市役所、クラスセ川越国際交流センター、尚美学園大学

2 実施方法

- ・ねらい 外国籍市民から見た住みやすいまちづくりについて意見を聴取する。
- ・調査の方法 日本語教室学習者には対面インタビュー方式、それ以外はアンケートを配布し、記入を依頼

3 実施結果・基本情報

回答者数 16 か国 131 人

●日本語能力 (人)	
上級	36
中級	68
初級	26
無回答	1
	131

●母国語 (人)	
中国語	91
韓国・朝鮮語	5
ポルトガル語	2
スペイン語	2
ベトナム語	3
英語	7
その他	20
不明	1
	131

●性別 (人)	
男性	65
女性	65
無回答	1
	131

●住所 (人)	
市内	63
市外	67
無回答	1
	131

●年齢 (人)	
10代	7
20代	92
30代	19
40代	7
50代	5
60代～	1
	131

●職業 (人)	
有	44
無	86
無回答	1
	131
◎職業内訳	
製造業	8
サービス業	2
飲食店・宿泊業	14
卸売・小売業	2
建設業	3
その他	13
不明	2
学生	73
専業主婦	9
その他	4
無回答	1
	131

●出身国 (人)	
中国	89
ネパール	7
タイ	5
アメリカ	4
マレーシア	4
韓国	3
ベトナム	3
ドイツ	2
ブラジル	2
インド	1
インドネシア	1
カメルーン	1
ニカラグア	1
パキスタン	1
香港	1
モンゴル	1
無回答	5
	131

●同居形態 (人)	
夫婦	19
親子	15
親子孫	1
ひとり	45
その他	51
	131

●同居人 (人)	
就学前	11
小学生	7
中学生	9
65歳以上	3

《各質問の結果》

問1 基本情報

大学にご協力をいただいたため、回答者の職業のうち約 56%を学生が占め、年齢は70%が20代となっている。また出身国は中国が68%、住所は市内が48%となっている。

※問2～問4は、市内在住者の傾向を知るために、基本情報のうち「住所」について「市内」と答えた人についての回答も別に集計した。

問2 あなたが現在住んでいる場所を決めた理由を教えてください。

⇒「学校または職場が近い」、「交通が便利」、「家族が住んでいた」が上位3位となっている。

	選択肢	全体		市内在住	
		人数	割合	人数	割合
1	学校または職場が近い	37	29%	22	35%
2	交通が便利	37	29%	12	19%
3	買い物や遊びに便利	8	6%	4	6%
4	家の周りの環境がいい	10	8%	5	8%
5	同じ国出身の人が多く	9	7%	5	8%
6	家族が住んでいた	18	14%	10	16%
7	その他	7	6%	4	6%
	合計	126		62	

問3 あなたは現在住んでいる場所に満足していますか。

⇒市内在住者については「このまま住み続けたい」が68%、「どちらかというに住み続けたい」が23%で全体の90%以上が、自身が現在住んでいる場所に満足している。

	選択肢	全体		市内在住	
		人数	割合	人数	割合
1	住み続けたい	78	60%	42	68%
2	どちらかというに住み続けたい	26	20%	14	23%
3	どちらかというに住み引越ししたい	10	8%	3	5%
4	引越ししたい	15	12%	3	5%
	合計	129		62	

問4 川越市は外国籍市民にとって住みやすいまちだと思いますか。

⇒市内在住者の 74%が、川越市が外国籍市民にとって「住みやすい」と考えている。

	選択肢	全体		市内在住	
		人数	割合	人数	割合
1	そう思う	84	66%	46	74%
2	そう思わない	15	12%	5	8%
3	どちらとも言えない	29	23%	11	18%
	合計	128		62	

問5 外国籍市民にとって住みやすいまちとはどのようなまちですか。

⇒「外国籍市民のための特別なサービス」を望むと回答したのは 44%。自由記述欄には「日本に慣れていない間はサービスが必要だが、その後は一市民として普通に生活したいので、その時により望むことの優先度が変わる」という意見があった。

	選択肢	人	割合
1	外国籍市民のための特別なサービスがある	55	44%
2	同じ国の人近くに住んでいる	18	14%
3	近所に住む日本人と交流がある	25	20%
4	外国籍だからと特別視されない	17	14%
5	その他	10	8%
	合計	125	

問6 あなたは、川越市の情報をどこで知りますか。(複数回答)

⇒「会社・学校」「広報川越」「市のHP」「日本の友人・知人」が多い。選択肢ごとの人数を見ると、どちらかという個人が個別に情報を入手する広報やホームページよりも、人を介して情報を入手している方が多いことがうかがえる。

順位	選択肢	人数
1	会社・学校	60
2	広報川越	22
3	川越市のHP(パソコン、スマホ)	22
4	日本人の友人知人	21

5	日本人以外の友人知人	21
6	家族	14
7	市役所などの窓口	13
8	その他	9
9	自治会の回覧板	5
10	川越市のHP（携帯）	3
11	NPO、ボランティア団体	2
12	教会・お寺	1

問7 あなたが、普段の生活で困っていることや不安なことは何ですか。（複数回答）

⇒上位5位が「税金や保険料の支払い」「日本語」「病気になった時の対応」「仕事探し」「災害が起きた時の対応」となっている。

順位	選択肢	人数
1	税金や保険料の支払い	54
2	日本語	48
3	病気になったときの対応	36
4	仕事探し	28
5	災害が起きた時の対応	23
6	特にない	22
7	近所付き合い	16
8	会社での仕事や人間関係	15
9	どこに相談すればよいかわからない	15
10	交通が不便	14
11	住まいの事	8
12	子供の学校・教育	5
13	その他	3
14	出産、子育て	2

問8 あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談しますか。（複数回答）

⇒上位3位は「日本の友人・知人」「日本に住んでいる家族・親戚」「日本人以外の友人・知人」となっている。相談できる人がいないと答えたのはごくわずかで、回答数からは多くの人が母国に住む家族以外に周囲に相談相手がいるのではないかと推測される。

順位	選択肢	人数
1	日本の友人・知人	47
2	日本に住む家族・親戚	40
3	日本人以外の友人・知人	37
4	母国に住む家族	36
5	会社や学校の仲間	35
6	外国籍市民相談	9
7	教会・お寺	7
8	その他	4
9	大使館・領事館	2
10	相談できる人がいない	2

問9 川越市のいいところを教えてください（自由記述）

⇒自由記述の回答で出てきた単語を登場回数の順に整理すると、「便利」「交通」「住む」「きれい」が多く抽出された。交通が便利で、きれいで住みやすいといったイメージが浮かんでくる。回答の内容について第三次総合計画の分野毎に分類したところ、3章関係の交通、4章関係の商業や観光についてのコメントが多く見られた。回答者の生活に密着したことについての意見が多くなっているものと推測することができる。また、家賃や物価が安いなど、川越以外の他所と比較しなければ出ない意見も見られた。

登場回数	キーワード	登場回数	キーワード
19	便利	3	特に
16	交通	3	日本
12	住む	3	買い物
11	きれい	3	文化
9	安い	3	便
8	環境	2	いろいろ
8	江戸	2	にぎやか
8	静か	2	クレア
7	思う	2	バス
7	人	2	モール
6	物価	2	飲食
6	歴史	2	家賃
5	東京	2	教室
4	外国	2	近く
4	国	2	景色
4	仕事	2	広い
4	出身	2	時
4	川越	2	自然
4	多い	2	鐘
4	大勢	2	場所
4	知る	2	生活
3	駅	2	大きい
3	観光	2	便利
3	近い	2	交通
3	建物	2	住む
3	古い	2	きれい
3	子育て	2	安い
3	町		

★教育・文化・スポーツ

- ・学校から近い
- ・一番街、喜多院、八幡神社、時の鐘
- ・おまつり
- ・古い文化が多い
- ・昔の日本を感じる
- ・歴史がある。きれい。日本語の教室がある。
- ・歴史があるまち、環境がよい
- ・歴史的なまちである
- ・歴史のある中心街のまちなみ。お菓子
- ・クラッセ
- ・国際交流センターがあること
- ・大抵の人は親切で、外国人を助けようとする気持ちがある
- ・日本語教室

問10 川越市の悪いところを教えてください（自由記述）

⇒問9と同様に、自由記述の回答で出てきた単語を登場回数順に整理したところ、「特に」「少ない」「思う」「不便」「知る」「交通」「買い物」が多く抽出された。特にないという回答が多く、その他は交通や買い物が不便という意見があった。3章関係の交通、4章関係の商業についてはいいところとしても多く挙げたが、悪いところとしても他章より多くの意見があった。回答者の生活に密接に関わる分野については関心も高くなるものと考えられる。また、悪いところが「ない、わからない」との回答が50件と多かった。

登場回数	キーワード	登場回数	キーワード
16	特に	3	川越
15	少ない	3	道路
10	思う	3	病院
10	不便	2	サービス
8	知る	2	狭い
7	交通	2	公的
7	買い物	2	高い
5	交流	2	使う
5	場所	2	市役所
4	人	2	時給
4	東京	2	商店
3	悪い	2	早い
3	安い	2	多い
3	遠い	2	対応
3	外国	2	町
3	機会	2	店
3	市内	2	電車
3	自転車	2	本数

★教育・文化・スポーツ

- ・教育にもっと予算を使うべき
- ・日本語
- ・外国人が意思疎通を図れる場所が少ない。（銀行、病院、駅でさえ）
- ・外国人が交流する場所が少ない。
- ・病院で言葉がわからない
- ・サッカー場が学生用しかない。プールがない。

問 1 1 川越市が外国籍の人が訪れてみたいと思うまちになるためには、どのようなことやもの（施設、設備、サービスなど）があるといいと思いますか。（自由記述）

⇒自由記述の回答から出てきた単語を登場回数順にみると、「外国語」「思う」「サービス」「川越」が多く抽出された。外国語によるサービス（翻訳、通訳、観光案内など）を求める声があった。外国籍の人への川越の魅力を高めるためには、言葉による障壁をなくすため、外国語を併記した看板やパンフレット類の充実がまず求められている。また、対外的に市のPRをすることが必要だとの意見もあった。

登場回数	キーワード	登場回数	キーワード
20	外国	2	安い
18	思う	2	駅
11	サービス	2	開放
8	川越	2	国際
7	人	2	市役所
6	案内	2	住む
6	翻訳	2	場所
5	英語	2	情報
5	観光	2	親切
5	施設	2	税
5	籍	2	設置
5	店	2	宣伝
4	近く	2	窓口
4	相談	2	他
4	通訳	2	大事
4	必要	2	町並み
3	看板	2	伝統
3	減免	2	東上
3	交通	2	特に
3	増やす	2	日本
3	地図	2	日本語
3	提供	2	文化
3	特別	2	変える
3	料理	2	魅力
2	アピール	2	利用
2	ガイド	2	料金
2	ガイドブック		

★教育・文化・スポーツ

- ・「外国籍の方困ったときコール」といった市役所でのサービスがあると住みやすくなると思います。観光客に来やすいのはわかりやすい看板と案内書が必要だと思います。
- ・Wi-Fi、外国語の案内板
- ・色々な言葉で相談できる場所
- ・お寺等
- ・外国語地図
- ・外国語で川越を案内するマニュアル
- ・外国語の看板を設置したほうがいい
- ・外国語を設置市が要がいいと思う
- ・外国人の会、外国人の集まり（陶芸、書道、話し会）、みんなで遊べる場
- ・外国人のガイド
- ・外国人の公務員がいてほしい
- ・外国人のためには日本人と一緒に国際交流会したほうがいいと思う。食文化⇒国際視野が広がる。国によって習慣が違うからそれをやっていいと思う。
- ・外国人のための特別なサービス
- ・外国籍の人が特別視されない。外国籍の人にもっと親切に、開放的に。
- ・外国籍のボランティアガイド
- ・観光には文化財や文化活動
- ・蔵造りの町並みや川越まつりなどが魅力である。
- ・英語による問い合わせ窓口を増やす。
- ・現在地、周辺主要施設等記載している地図看板（日本語、英語）
- ・サービスがあるといいと思います
- ・サービスがあるといいと思います。
- ・サービスがあるといいと思います。
- ・サービスがいいとよい
- ・サービスが一番だと思う
- ・相談の窓口がほしい
- ・通訳、翻訳
- ・通訳、翻訳がほしいです
- ・通訳機
- ・通訳翻訳のサービスがある
- ・日本語教室、翻訳
- ・日本の味を保存し、外国人のために変えれば変えるほど魅力が失われると思います。

- ・初めてきた外国籍の人を川越市で案内するなどのサービスが必要だと思います。
- ・翻訳
- ・翻訳サービス
- ・もっと外国人に分かりやすい案内文・標示が必要と思う。外国人が気軽に入店できるよう明るさとおおらかさがある店を増やしてほしい。
- ・もっと情報を提供してほしい。(土地、仕事など)
- ・より多くの英語の情報や表記、英語が話せる市役所職員

★産業・観光

- ・案内の人（細かいことを相談したり教えてくれる人）
- ・いいところを宣伝する。温泉や食べ物、特別な施設など
- ・駅の近くでコミュニケーションする場所を提供すること
- ・駅の近くにカフェやコーヒーショップがもっと多かったらよく出かけようと思います。本川越駅の近くに特に夜ではほとんどが水商売みたいのところばかりなのであまりでかけない。
- ・江戸時代の村
- ・川越駅の近くに川越の全貌を紹介する施設があればよいと思います。(歴史、伝統、特選品、代表的な料理など)。統一的な詳細な観光ガイドブックがあればよいと思います。多言語なら更によいと思います。店の対応はもっと開放的に、親切になってほしいです。
- ・川越の詳しい地図が欲しい
- ・川越の個性をもっと全面的にアピールする。祭り、町並み、をもっと工夫して宣伝したらよいと思う。大勢の人々の参加と団結力
- ・観光地の利用を無料で提供してほしいです
- ・観光にはサービスが大事
- ・着物を着る体験ができるところ
- ・ゲームセンターなど外国人用の娯楽施設
- ・元気がある店
- ・ハローワークの英語版ホームページを作り、週末も相談できるようにする。
- ・タイ料理、日本料理
- ・伝統行事などをもっとアピールする必要があります。できればインターネットをうまく利用すればと。
- ・洋食のお店がたくさんあって欲しい
- ・旅行用のガイドブック

問12 川越がずっと住み続けたいまちになるためには、どのようなことが必要ですか。(第三次総合計画ごとの分野から、3つまで選択)

⇒「スポーツ」「自転車・バス交通の充実」「雇用・労働環境」「道路通学路整備」「観光事業」「公園の充実」が多く選ばれた。この設問でも、回答者の普段の生活と密接に関わりがあるものが多く選ばれたと思われる。「スポーツ」が1位だったのは若者、学生らしい意見としてもとらえることができる。

	合計	子育て支援	高齢者福祉	健康づくり	医療		
1章	25	10	0	7	8		
		学校教育の充実	生涯学習	スポーツ	文化芸術活動	文化財の保存	多文化共生
2章	61	11	11	22	9	3	5
		道路通学路整備	都市景観	公園の充実	自転車・バス交通の充実		
3章	63	16	12	15	20		
		雇用・労働環境	商店街への支援	産業振興	観光事業		
4章	46	18	10	2	16		
		自然環境の保全	地球温暖化対策	ゴミの減量化リサイクル			
5章	19	12	4	3			
		地域コミュニティ	防災	防犯	交通安全	消費者対策	人とのつながり
6章	58	5	5	11	11	12	14

問13 12で選んだ3つのことについて、川越市が住み続けたいまちとなるためには、具体的にはどのようなことが必要だと思いますか。(自由記述)

⇒自由記述の回答を、これまでの問いと同様に、単語の登場回数ごとにまとめると、問12の結果から分かるように、「スポーツ」「交通」「道路整備」「防犯」「商店」などの言葉が多く抽出された。道路や交通、商店街など都市としての機能が整備されていること、スポーツができること、外国籍の人・日本人を問わずつながりがあること、安全で安心であることが求められている。

登場回数	キーワード	登場回数	キーワード
16	思う	3	先生
15	外国	3	知る
13	必要	2	ゴミ
8	スポーツ	2	サービス
7	交通	2	センター
6	道路	2	医療
6	文化	2	運動
6	防犯	2	学習
5	学校	2	学生
5	支援	2	活動
5	自転車	2	活用
5	充実	2	機会
5	商店	2	共生
5	人	2	減少
5	整備	2	雇用
5	増やす	2	行く
5	多い	2	今
5	通学	2	作る
5	特に	2	参加
4	バス	2	車道
4	環境	2	守る
4	観光	2	重視
4	子育て	2	少ない
4	市民	2	紹介
4	場所	2	設ける
4	籍	2	川越
4	日本人	2	大事
3	安全	2	知識

3	一番	2	地域
3	公共	2	町
3	事業	2	表示
3	自分	2	歩道
3	情報	2	方法
3	人々	2	夜

★教育・文化・スポーツ

○生涯学習環境の整備・充実(2-1-1)

- ・学生のためには生涯学習が一番大事なこと。どんな進学ができるとか、仕事で働くとか考えている。

○豊かな人間性をはぐくむ教育の推進(2-2-1)

- ・学校教育の充実：現在学校の先生たちが負担が多く心身ともに疲れている先生もいらっしやいます。教員の増員及び先生へのカウンセリングの導入が必要あるのではないか。

○芸術文化活動の充実(2-3-1)

- ・文化芸術を選んだのはデザインの知識を知りたい。

○文化財の保存・活用(2-3-2)

- ・特に小江戸の文化をよく保存してみんなで守って将来の子孫が環境を感じていけるように皆で努力していただければよいと思います。

○多文化共生と国際交流・協力の推進

- ・英語とか中国語のサービスがある
- ・夫が日本人なので具体的に必要なことはない。自分の日本語がうまくなることが一番大切
- ・外国人と日本人とつながり、コミュニケーションが行われていない
- ・外国籍の人をもっと重視し、もっと活用すること
- ・グローバルに触れる機会を作ること。外国と日本人も訪れやすい街
- ・外国人を増やす
- ・多文化共生：留学生が参加できるミーティングをたくさんつくること
- ・外国語での情報提供
- ・多文化共生の意識が高まる必要があると思います。外国の文化紹介をするコーナーを設けて、市内に在住の外国籍市民を紹介する機会を作ること。外国籍市民と日本の市民との触れ合いを増すこと。
- ・医療サービス（例：医療現場の通訳等）
- ・観光事業の繁盛のために、外国籍市民をもっと重視して活用させること
- ・多文化は2つの国の人とつながるものとなる
- ・地域による習慣も違うので、その学習が必要と思います。

- ・電車、バスの案内表示の外国語の表示
- ・外国人と意思疎通を図れるようにする。
- ・外国人にもっとやさしい環境にする
- ・緊急時や問い合わせ用のフリーダイヤルをつくる

★産業・観光

○地域振興拠点の整備と新しい産業の育成(4-1-1)

- ・経済だと思う

○雇用の促進と労働環境の改善(4-1-2)

- ・雇用
- ・時給を上げること
- ・雇用の情報の入手方法、

○商業の振興(4-1-4)

- ・今の環境は続けていく。商店街が減少⇒増やしていく
- ・買い物しやすい
- ・商店街への支援：商店街でまつりをおこなうこと
- ・商店街が多くなる。 ・
- ・商店街が多くなればさまざまなショッピングができます。

○新たな観光事業の推進(4-2-1)

- ・観光事業に関しては外国人の観光率アップ。
- ・観光事業：歴史だけでなく、川越市の今ももっとアピールした方がいいと思います。

問14 多文化共生のまちづくりをするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(自由記述)

⇒自由記述の単語の登場回数を整理すると、「外国」「文化」「交流」「必要」が多く抽出された。順にキーワードを並べると、そのまま必要なことが浮き上がってくる。回答を内容毎に大まかに「交流などの実体験に関すること」「障壁を取り除くこと」「相互理解に関すること」「日本人の意識に関すること」「外国籍市民の意識に関すること」「その他」の6つに分類した。

登場回数	キーワード	登場回数	キーワード
21	外国	3	日本
18	文化	2	お互い
12	思う	2	コミュニケーション
11	交流	2	サポート
10	必要	2	スポーツ
6	一緒	2	センター
6	日本人	2	学ぶ
5	イベント	2	活動
5	国	2	共生
4	言葉	2	経済
4	川越	2	考える
3	機会	2	行う
3	気持ち	2	国際
3	市民	2	作る
3	習慣	2	参加
3	住む	2	自分
3	人	2	尊重
3	生活	2	対等
3	籍	2	大切
3	特に	2	知る
3	特別	2	与える

●交流などの実体験に関すること

- ・いろいろな国の方とコミュニケーションを取ることが必要だと思います。文化交流会を行うのが必要だと思います。
- ・おまつりは外国人も参加できること。多文化交流できるイベント
- ・外国人交流が必要である
- ・外国人と交流する

- ・外国人と交流する事
- ・外国人と日本人と一緒に楽しめる公共のイベントを開催する。
- ・異文化交流プログラムをつくる。
- ・多文化の交流会、イベント
- ・多文化を体験する見る聞くことから始まるので、そういった機会を与えることが必要です。
- ・日本人と外国人のコミュニケーションをしなければならない。日本人と外国人一緒にスポーツすること
- ・日本人との交流を深めるためのイベントがあったほうがいい。
- ・美術館、クリエイティブ産業に関することを行う。イベントや子供に対する頭を使うゲーム等
- ・人とのつながりをつくろう
- ・みんな一緒に集まって活動すること
- 障壁を取り除くこと
- ・外国語ができる人が必要だと思います
- ・言葉が通じること
- ・言葉を学ぶこと
- ・設備をもっと外国人向けに作る（言語の補い）
- ・互いの言葉を学ぶこと
- ・色々な言葉で相談できる場所
- ・外国人の留学生に対してサポートがあったほうがいいと思います。
- ・サポート体制をもっと充実する必要がある
- ・市役所に外国人の窓口がほしい
- ・スポーツセンター、多文化交流センターがある方がいい
- ・図書館を駅の近いところに作る
- ・日本語教室のようなものを増やす
- 相互理解に関すること
- ・一緒にみんなでなかよく
- ・お互いの文化や習慣を知ること。その違いを認め合うこと。お互いの文化や習慣を尊重すること
- ・気持ちが大切です。川越市の市民として多文化のまちに住んでいることを誇りをもっている気持ちが大切です。
- ・自分の自覚だとおもう
- ・対等な関係、対等な意識を持つことが重要。日本は先進国ですが、国際交流（人的、物質的）によって経済が発展してきましたので、もっと国際交流（特に異文化）を取り込むべきだと思います。
- ・日本人と外国人が一緒になって一緒に多文化共生のまちづくりを考えることが必要だと思います。

●日本人の意識に関すること

- ・外国人に特別視されないで平等になる
- ・外国籍の方が特別視されず普通の生活が平和にできることが必要だと思います。
- ・外国籍の川越市民たちに住みやすい環境をつくることです
- ・彼らが安心して共生したいという気持ちが生まれるように接し方を考える（優しく、丁寧に）
- ・他の文化や外国人は特別視されない
- ・日本人の生活・外国人の生活で違うのでみんなで合わせて尊重していく。
- ・いろいろな国の文化や習慣などを紹介する書物が必要だと思います。
- ・さまざまな国の文化を宣伝することが必要だと思う

●外国籍市民の意識に関すること

- ・外国人が川越市に来て、もちろん日本の文化に触れることが多いが、でも自分の国の文化をアピールする機会がなかなかないから、そういう機会を与えたほうがいいと思います。
- ・外国人によってのボランティア活動
- ・外国籍の市民はもっと積極的に社会参加すること
- ・もっとコミュニティにかかわれるような資源

●その他

- ・川越だけでなく、地球に住んでいる人類の問題だと思う
- ・国レベルで情報を出してほしい、経済力をつける援助
- ・知りません
- ・特にないです
- ・特になし
- ・なし
- ・なし
- ・日本の文化と外国の文化がミックスしたほうがいいと思う。
- ・まずきれいになる
- ・分からない
- ・わからない
- ・わかりません

問15 あなたは地域のために、どんなことができますか。(自由記述)

⇒回答を整理し、単語の登場回数を表にまとめるとともに、内容により以下の6点に分類した。

登場回数	キーワード	登場回数	キーワード
7	ゴミ	2	開く
6	守る	2	学校
5	自分	2	気持ち
4	文化	2	協力
3	外国	2	考える
3	環境	2	思う
3	参加	2	時間
3	仕事	2	捨てる
3	人	2	消費
3	地域	2	情報
3	日本	2	生活
3	分別	2	積極
2	インド	2	特に
2	ネパール	2	分ける
2	ボランティア	2	料理
2	ルール		

●外国籍市民の特性を生かしたこと

- ・韓国語に関係すること
- ・通訳翻訳ボランティアに参加する事。学校の教師などの協力もこれからしていきたいです。
- ・ネパールやインド、英語を話す外国人が情報を得るための手伝いができる。
- ・これまでの仕事の経験や学識から地域の人と交流できる

●社会参加に関すること

- ・学校の掃除、交通指導
- ・友達になる
- ・インド料理の店を開く
- ・仕事はできます
- ・自分の仕事を通じて、地域の発展に貢献したい
- ・ベトナム料理を教える
- ・ネパール人や他の外国人を助けることができる。
- ・ビジネスを立ち上げ、人を雇用する。

- ・ レストランを開く
- ・ 積極的に社会参加することです
- ・ どんどんイベントや行事に参加する
- ・ 話し合い、意見、交換
- ボランティア活動にかんすること
- ・ 現在、子育て最中、自由の時間があまりないですが、まずボランティアとして地道にやっと思いこんでいます。
- ・ 高齢者への配慮、同じ国の人へ情報提供（7 助け合い）
日常的な生活の中、地域のために自分にできることであれば積極的に協力したいです。
- 自分自身が行うこと・意識に関すること
- ・ 環境保護
- ・ 環境を守る
- ・ ごみ処分のことしっかりできます
- ・ ゴミの減量のことできます
- ・ ゴミ拾い、学童誘導などできます
- ・ ゴミをゴミ箱に捨てること
- ・ ごみを分別する。あまり昔は分けなかった。（生ごみ・プラ）
- ・ ゴミを分別すること
- ・ ゴミを分別すること
- ・ ゴミをリサイクルします
- ・ ゴミを分けて捨てること
- ・ 自分ができるところをやります。例えばごみを減少することやビニール袋を再利用すること
- 日本のルール、習慣の尊重に関すること
- ・ 税金を払う事です
- ・ 日本の規則に従い守る
- ・ 日本の法律を勉強します（自分が犯罪しないように）、新しい外国人が困っていることで自分ができるところをやります
- ・ 日本文化を意識する。文化、暮らしを邪魔しない
- ・ マナーを守る
- ・ ルールと生活習慣を守る、環境を守る
- ・ ルールを守る
- その他
- ・ 宣伝する
- ・ 消費
- ・ 消費。お金と時間を。
- ・ 祈ってあげること

- ・観光できます
- ・私は台湾人。住んでいるところはいいまちと思う。いろいろな文化まちを作り、例えば文化創意地区。行くときたくさん展覧会を見た。健康については半年ごとに老人の健診をする。
- ・今から考えます
- ・考えているところです
- ・わからないが、何かやりたい気持ちはある。
- ・わからないが、何かやりたい気持ちはある。
- ・知りません
- ・まだわからない
- ・わからない
- ・わかりません
- ・わかりません
- ・ありません
- ・特にない
- ・特になし
- ・なし

問16 川越の将来について、どのようなまちになって欲しいですか。(自由記述)

⇒「きれい」「観光」「便利」「交通」「文化」が多く抽出された。回答をまとめ、望まれているまちの姿を表してみると、『伝統を保ちながらもまちとしての基盤を整え、人が行き交う安全なまち』、といった形になるのではないか。

回答中単語の登場回数

登場回数	キーワード	登場回数	キーワード
11	きれい	3	歴史
10	観光	2	快適
7	便利	2	権力
5	交通	2	古い
5	文化	2	交流
4	にぎやか	2	江戸
4	安全	2	思う
4	外国	2	持つ
3	共生	2	住む
3	国際	2	川越
3	人	2	有名
3	旅行	2	良い

★教育・文化・スポーツ

- ・外国籍の市民も誇りを持って住みやすいまち
- ・快適で外国人に友好的なまち
- ・国際交流化なまち
- ・このまま。スポーツができる場所を増やす
- ・このままでもいい。外国人がみておもしろいと思う（ロボットなど）ものがあるまち
- ・静かで住みやすい
- ・歴史を大切にしたい
- ・小江戸川越のまち
- ・真に開放的な国際化のまち
- ・多文化共生的なまち
- ・多文化共生できるまち
- ・誰でもなかよくできるまち
- ・古いものを大事にするまち
- ・文化芸術
- ・小江戸川越をもっと広げて京都みたいな感じがいいと思う。みんな行くときほめられて、観光地にビジネスでなく本当の文化を伝えることをする

- ・子どもの教育を応援する
- ・もっと外国人にやさしいまち
- ・歴史的遺産を守るまち

4 参考資料

○執務体制等

政策企画課・・・6名

国際文化交流課・・・2名

チャレンジ未来100職員・・・2名